

米軍基地関係特別委員会記録  
<第2号>

平成30年第3回沖縄県議会（2月定例会）

平成30年2月21日（水曜日）

沖 縄 県 議 会

## 米軍基地関係特別委員会記録<第2号>

---

### 開会の日時

年月日 平成30年2月21日 水曜日  
開 会 午前10時15分  
散 会 午前10時35分

---

### 場 所

第4委員会室

---

### 議 題

- 1 米軍MV22オスプレイの部品落下事故に関する意見書及び同抗議決議について

---

### 出 席 委 員

委 員 長	仲宗根	悟 君
副 委 員 長	親 川	敬 君
委 員	山 川 典 二	君
委 員	花 城 大 輔	君
委 員	末 松 文 信	君
委 員	照 屋 守 之	君
委 員	宮 城 一 郎	君
委 員	照 屋 大 河	君
委 員	新 垣 清 涼	君
委 員	瀬 長 美 佐 雄	君
委 員	渡 久 地 修	君

委員 金城 勉 君  
委員 當間 盛夫 君

委員外議員 なし

---

### 欠 席 委 員

なし

---

○仲宗根悟委員長 ただいまから、米軍基地関係特別委員会を開会いたします。  
米軍MV22オスプレイの部品落下事故に関する意見書及び同抗議決議についてを議題といたします。

去る2月15日の委員会において、議員提出議案としての本意見書等に係る議員派遣に関し、県外関係要路についても直接要請を行うことで決定したところであります。今般、事故が頻発していることも踏まえ、きのうまで在日米軍司令部と調整を重ねてまいりました。しかしながら、他の自治体等も同様であるが、ここしばらくは横田基地において抗議決議を直接受けたことはないとのことであり、横田基地に行けない状況になっております。ついては、県外関係要路への直接要請について委員の皆様に変更御協議をお願いいたします。

○仲宗根悟委員長 休憩いたします。

(休憩中に、沖縄・自民党会派所属委員から、横田基地で直接手交ができないのであれば、県外要請については、これまでと同様に文書送付に切り替えてはどうかとの発言があった。社民・社大・結連合所属委員から米軍が直接手交を受けないという姿勢を明らかにすることや、県民の不安を県議会が代表して届けることは重要であることから、県外関係要路への直接要請は実施すべきとの発言があった。おきなわ会派所属委員から、在日米国大使館や防衛省などに対し沖縄で起こっていることや米軍の現状を直接訴える必要があるとの発言があった。共産党所属委員から、米軍が要請を受け付けないことはとんでもないことであり、余計に県外関係要路への直接要請を行わなければならない

なっているとの発言があった。維新の会所属委員から、在日米国大使館、防衛省及び外務省において、今回の米軍の対応について訴えることも大事であるとの発言があった。公明党所属委員から、在日米国大使館において米軍の対応に注文をつけることとし、県外関係要路への直接要請は予定どおり実施してはどうかとの発言があった。各会派の意見を踏まえ協議した結果、在日米軍司令官宛ての要請については、従来どおり文書送付することとし、在日米国大使館及び政府関係機関での直接要請については予定どおり実施することで意見の一致を見た。）

○仲宗根悟委員長 再開いたします。

議員提出議案としての米軍MV22オスプレイの部品落下事故に関する意見書及び同抗議決議の提出方法については、休憩中に御協議いたしましたとおりに決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○仲宗根悟委員長 御異議なしと認めます。

よってさよう決定いたしました。

以上で、議題は全て終了いたしました。

委員の皆さん大変御苦労さまでした。

本日の委員会は、これをもって散会いたします。

沖縄県議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

委員 長 仲宗根 悟